

情 報 公 開 文 書

研究の名称	機能性消化管疾患診療を補助する人工知能（AI）機器の開発
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院 光学医療診療部 藤浪 斗
研究の概要	<p>2008年4月1日から2024年7月31日までに虎の門病院にて内視鏡検査を受け、症状の問診票に回答した18歳以上の成人症例を対象とし、虎の門病院で内視鏡検査と症状問診が施行された症例の匿名化した内視鏡画像データと症状スコアや各種検査データなどを富山大学附属病院にて内視鏡画像と症状スコアや各種検査データをAIで学習させます。</p> <p>【研究の目的・意義】 機能性消化管疾患において症状や検査結果を予測するAIモデルが開発されれば、日常診療において重要な診療ツールとなりうる。本研究の成果によって日常診療で患者の負担を軽減し、より円滑な診療が実現可能になります。</p> <p>【研究の方法】 虎の門病院で取得された診療情報及び画像データは、検査日・氏名・患者IDを削除し、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえられたうえで、富山大学附属病院 光学医療診療部 藤浪斗へ送付される。富山大学附属病院では内視鏡画像と症状スコアや各種検査データをAIで学習させ、臨床検討可能なAI機器を作成します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2027年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 本研究により得られた結果やデータは、学会報告や論文・報告書にて好評されます。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	収集するデータ項目は、年齢、性別、症状スコア、採血データ、CT・MRIなどの画像所見、内視鏡検査結果、食道内圧検査や24時間pHモニタリングなどの生理検査結果（当院では取得しません）
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	虎の門病院 消化器内科 布袋屋 修
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院 光学医療診療部 藤浪 斗
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7301 FAX 076-434-5027 E-mail haruka52@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院 光学医療診療部 藤浪 斗</p>